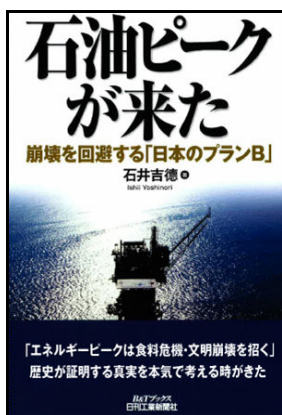


石油ピークと文明転換の政治

講師 石井吉徳さん

(もったいない学会会長、前国立環境研究所所長)



- オイルピーク問題についての理解を深めます。
- 資源の高騰に備えた社会への転換が必要であり、政策的な対応が求められます。
- オイルピークは過去のオイルショックの諸相とは異なり、文明ピークであり農業ピークでもある。付け焼刃の対応ではまったく不十分です。
- そこで講師に石油業界、大学教授、国立環境研究所の所長として活躍された後、日本でいち早くこの問題に警鐘を鳴らしてきた石井氏を招き、主要な論点と求められる対策を検討します。
- 石井氏の主張は、現代的な経済・暮らしを根本から改めて、一極集中から分散型へ、また量的拡大から質的充実へ、エネルギー・資源の利用はエントロピー視点で考えるという、持続可能な社会を検討する際に欠くことのできない視点を提示しています。

ご参考

『石油ピークが来た』

石井吉徳著（日刊工業新聞社）の目次

- 1章 もう来ている「石油ピーク」
- 2章 そして石油を代替するエネルギーなどない
- 3章 石油ピークは農業ピークであり、文明ピークである
- 4章 石油ピークと経済と国際力学
- 5章 文明崩壊を回避するための自然との共存
- 6章 21世紀の「日本のプランB」を考える

どなたでもご参加いただけます。

ぜひご出席ください。

日時 2月29日（金）14:00～16:00

会場 参議院会館第5会議室

主催 参議院議員川田龍平

問合せ 川田龍平事務所（202）・政策秘書 松谷清

TEL 03-3508-8202

FAX 03-5512-2202

メール ryuuhei_kawada3@sangiin.go.jp